

幼児教育コース

● コースの特色

「幼稚園教諭免許取得+α」の力を育む

幼稚園教諭一種免許と保育士資格や小学校教諭免許が卒業と同時に取得できます

幼児教育コースでは「幼稚園教諭免許状」だけでなく、九州の国立大学で唯一「保育士資格（保育所、乳児院、児童養護施設、障害児施設などで働ける資格）」も同時に取得できます。

幼児教育の充実が求められている中、乳幼児保育の基本理念、乳幼児期や就学後の発達、子育て支援など、多方向から学びを深めていきます。更にその学びを、各種実習に加え、一年間の長期実践「プロジェクト総合演習」を通じて確かなものにします。

免許資格の取得と、それらを取得する過程での学び、双方において「幼免取得+α」を目指し、高度な力量を備えた保育者養成、教員養成を行うコースです。

4年間の学びの概要

1年 教養科目で大学生の基礎づくり

2年 基礎的専門科目+保育実習

3年 発展的専門科目+幼保実習

4年 卒論で専門性と学びの深化

● 実習

幼稚園での実習は、3年次に附属幼稚園等で1ヶ月間行います。

保育士資格の実習は、保育園と各種施設にて、それぞれ行います。地元や就職希望先など、自分で実習先を選んで行くことができます。保育実習は計3回行い、合計で30日間となります。

小学校での実習は、4年次に附属小学校で2週間おこないます。



4年間の実習の流れの例

1年

体験実習

2年

参加観察実習

3年

保育所実習Ⅰ

保育所実習Ⅱ

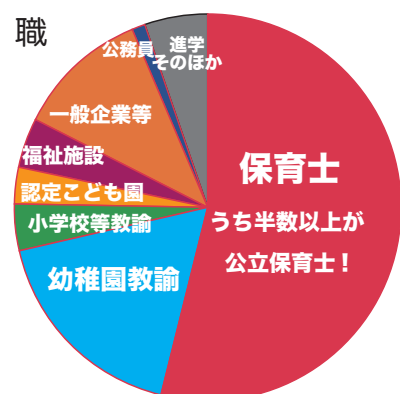
幼稚園実習

施設実習

4年

小学校実習

● 就職



各地の幼稚園・保育所(園)・認定こども園・児童福祉施設などの保育施設に約75%の学生が就職しています。とりわけ長崎大学では、公立保育所(地方公務員)への合格率が高いのが特徴です。それ以外にも、小学校等の教諭として就職をしています。

2020年度より、これからの幼児教育に更に求められる力と、これまでのコース卒業生の免許資格取得実績や就職後の活躍状況をふまえ、コース必修の免許資格を、「幼稚園教諭免許のみ」から「幼稚園教諭免許」+「保育士資格」または「小学校教諭免許」に変更し、レベルアップしています。